

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 優秀賞

『仲良くなれる』ということ』

相模原市立小山小学校 四年 原田 陽愛里

はらだ ひまり

私のお友達には、少しコミュニケーションを取る事がむずかしい子がいます。その子とは同じクラスで、仲良くなりたいな、と思っていたので、何か良い方法はあるかな？と考えてみました。

そして、思いついたのが「一緒に遊ぶ」という事でした。コミュニケーションがむずかしいなら、遊ぶ事で仲良くなれるんじゃないかなと思ったからです。

最初は、その子の所へ遊びに行ってみたり、外で一緒に遊んだりしていました。どんどんその子は私のことを覚えてくれるようになりました。ハイタッチしたり、鬼ごっこをしたりと、二人で遊ぶ事がふえていきました。その子もすっごく笑顔でいてくれたので、とても楽しかったです。

またいつものように会いにいくと、名札を指さし、何かを話していました。「ちゃん。」と、とても一生けん命言ってくれていました。

それから私の言葉をゆっくりと真ねしたり、文字をくりかえしたりし、とてもがんばっていることが伝わりました。手をつないで走ったり、ジャンブルジムに登ったりして、毎日休み時間が楽しかったですし、楽しみでした。

その子のおかげで話が出来なくても、仲良くなれる事を学びました。これからも、色いろな子達と仲良くしていけたらなと思います。